岡山県高等学校体育連盟サッカー部

記録用紙

確認者	試合責任者	主審	記録責任者
	甲本仁	遠藤隆	吉田賢二

大会名	令和3年度岡山県高等学校サッカー選手権大会 兼 第100回全国高等学校 サッカー選手権大会岡山県大会	第1日	4 回 戦	令和3年10月16日 13:30	試合時間	80 分 延長 (20分)
会場	就実祇園グラウンド	天候	(晴)・曇・雨	風 無・(弱)・強	(芝)・土	(良好)・普通・不良
観衆	700 人	気温		湿度		

試合責任者	甲本 仁	主審	遠藤 隆 (中国協会)	副審	青山裕高 (岡山県協会)	副審	河原功汰 (岡山県協会)	第4	橋本卓治 (中国協会)	記録者	吉田賢二 (美作高校)

(チーム名) 備前 地区

就実 高校

(kick off) (延長kick off)

3 [2－0 / 1－1 / －PK－] 1

(チーム名) 備中 地区

岡山龍谷 高校

kick off (延長kick off)

交代 No.	交代 時間	シュート数 延長	シュート数 後半	シュート数 前半	学年	選手名	番号		番号	選手名	学年	シュート数 前半	シュート数 後半	シュート数 延長	交代 No.	交代 時間
					3	冨山 航太郎	1	GK	1	屋敷 拓海	3					
12	55分			1	3	泥谷 貫太	2	DF	4	田中 翔大	3					
					3	枡形 弘生	5		6	白籏 永輝也	3	1	1			
					2	春名 隼生	7		10	山室 俊輔	3					
					3	山本 遥斗	8		19	西原 隆裕生	2					
23	42分		1	1	2	山本 晏暉	10	MF	24	十川 大地	3				14	HT
6	HT			1	2	横田 憲史郎	13		17	石井 大斗	3		1			
			1	1	2	山内 裕翔	14		8	黒田 遥瓢	1				24	57分
21	52分		1	1	2	野田 拓輝	9	FW	20	植田 我聞大	2					
4	53分				3	前大倉 慶也	11		9	久川 和	1	1	1		25	HT

交代要員

					3	安相 勲	3	FW	DF	5	森川 幸星	3				
		1			3	宮本 大輝	4	DF	MF	11	鹿本下 晴琉生	1				
					3	瀬戸 雄大	6	DF	GK	12	竹下 覚	3				
					1	西村 大和	12	MF	MF	13	馬屋原 快永	2				
					2	細川 隼元介	17	GK	MF	14	田中 櫂翔	1	1			
					3	峰月 求悠大	18	DF	MF	18	田中 縁					
					3	赤熊 和大	20	DF	FW	22	大成 稔					
					3	岡本 あき 貴	21	FW	DF	24	本井田 亮太		1			
					3	小西 大	23	DF	MF	25	住田 周真	1				
			4	8		チーム合計						2	5			
			12									7				

	No.	氏名	分	理由	計	延長	後半	前半		前半	後半	延長	計	No.	氏名	分	理由
警・退					6		1		GK				10	(警)退 8	黒田遥斗	5分	ラフ
警・退					7		2	2	CK				0	警・退			
警・退					11 9		3	1 1	直接FK	1 1	1 1 1		5 9	警・退			
警・退					2		1	1	間接FK	1 1	2		4	警・退			
警・退					0				PK				0	警・退			

理由　不正:著しく不正な行為、 乱暴:乱暴な行為、 つば:つばを吐く行為、 阻止(手):手による決定機の阻止、 阻止(他):手以外による決定機の阻止、 暴言:攻撃的侮辱的な言動、 警告2:2度目の警告、 反スポ:反スポーツ的行為、 ラフ:ラフプレー、 異議:判定に異議を示す行為、 繰返:繰り返し違反する行為、 遅延:プレーの再開を遅らせる行為、 距離:規定の距離を守らない、 入:未承認でピッチに入る、 去:未承認でピッチから出る

時間	得点チーム	得点者名	アシスト者名	得点経過
22分	就実	⑬横田憲史郎	⑪大倉慶也	右CK ⑩ ↑ 左 ② H ↑ 中 ⑪ → ⑬ S 3m
40+1分	就実	⑩山本泰暉		左FK ⑩ S 20m
57分	就実	⑥瀬戸雄大	⑪大倉慶也	右 ⑪ ～ → 中 ⑥ S 6m
74分	岡山龍谷	⑥白籏永輝也		中 ⑨ ↑ 左 ⑭ ～ → 中 ⑥ S 10m

記入例　～:ドリブル、 →:ゴロのパス、↑:浮球のパス、 ×:混戦、 H:ヘディング、S:シュート、 右:右サイド、 左:左サイド、 中:中央

戦評者名 (鳥原 雄治) (フルネームで記入)　勤務又は所属 (岡山県立岡山城東高等学校)

8シードの就実高校と新人戦ベスト4の実力をもつ16シードの龍谷高校のベスト8をかけた試合。前半立ち上がりからお互いディフェンスラインの背後を素早く狙う。就実は⑨⑪の2トップがスペースへ動き出しそこへ向かって全体が前へ動き出す。特に⑨の献身的な動き出しと、チェイシングは龍谷ディフェンスにプレッシャーを与え続けた。一方龍谷は押し込まれながらも⑨をターゲットに②が抜け出しカウンターから右サイドで④が抜け出すなど常にチャンスを伺い続ける。お互い球際の激しさは空中戦の強さは最後まで変わらずスピード感のある試合であったが、前半飲水直前、前半終了間際に効果的に加点し、ゲームを有利に進めた就実がセカンドボールを落ち着いて拾うようにしゲームをコントロールした。敗れはしたが龍谷はベンチを含めチーム全体がひたむきに戦う好チームであった。3年生は抜けるが新人戦にも期待したいチームである。